



## 『野市小 = エコ!』 自由な発想でエコ実践

- 活動時期 → 通年
  - 活動場所 → 主に香南市
  - 主な活動メンバー：  
小学生・先生・保護者・地域の人
- 【ホームページ】  
<http://www.kochinet.ed.jp/noichi-e/>

### (取り組み内容)

「野市小学校=エコ」というのが、子ども達・教職員・保護者の共通認識。でもだからこそ「ただ、エコだ!」というのではなく「環境・エネルギー」+「人・モノ・こと」をつないで子どもたちを成長させることが学校の責任だと考えている。

### ◆子ども達の実践例

～めざせ!金ちゃんの仮装大賞!～

【目的】少しでも多くの人にエコを伝えたい。

→日本の首都「東京」に行って伝えよう!

【課題】お金がない…

【解決策】金ちゃんの仮装大賞に出場できれば旅費を負担してもらえる!それにみんなが見ている番組だから大勢の人にエコを伝えることができる!

### 【実践】1学期

①小道具を作るための材料費を集める

→地域のフリーマーケットに参加。

「いらないものを捨てず、必要な人に譲るのはエコだ!」

②野市町内のエコ実践・意識アンケート調査

→仮装大賞のアイデアに。

【結果】家庭での節電・エコバックの持参などを知る。

でも中には「みんなのエコを教えてください」「エコにあまり関心がない。」という意見も。

→全国にもそう思っている人がいるはず。文章で表現するよりも、パッと見てわかるものが心に残るかも!

### 2学期

①仮装大賞に向けたアイデアのまとめ

→運動会で練習した組み体操でエコを表現する!

②応募書類の提出。しかし残念ながら書類審査で落選…。

③「コツコツカツコツコンテスト」での成果発表へ!



フリーマーケットとアンケートの実施



(小道具づくり) 緑のカーテンと風力発電



組み体操でエコを表現!

## ((うれしいお話))

- ・外部から評価をいただけることはとてもうれしい（内側にいるとわからない）  
そういった評価を子ども達や先生に返すと、喜んでやめられなくなる。
- ・保護者の方々も8~9割が環境教育を支持してくれ、自分達も学べると喜んでくれている。
- ・卒業した生徒が中学校に入り、何か企画が必要なときは率先してできるとのこと。かなり嬉しい。
- ・子どもたちは自分でやりたい！と取り組んでいることもあり、土日や放課後なども熱心に取り組んでくれる。
- ・なにより、子ども達がいきいきしているのが一番。怒られもするけどへこたれない！

### ◆子ども達の取り組み事例

- ・森を守る間伐体験～木製品の制作販売
- ・緑のカーテンでまちを涼しく
- ・ヤギやブタ、ニワトリなどの動物飼育
- ・アサギマダラの住めるまちづくり
- ・エコキャップを集めてワクチンを送る
- ・エコッキングとレシピ集の作成 などなど

### ◆野市小の施設利用

野市小の中には10ヶ所程の自然エネルギー設備（太陽光・風力など）がある。それらを巡るクイズラリーなどを実施することで体験しながら学んでもらう。

### ◆授業の中でもエコ

家庭科ならエコッキングだったり、国語の題材に環境を取り入れたり。授業はある程度決まっているが、子ども達の身の回りや接点を持たせながらその想いを引き出すよう意識する。

### ◆催しの企画・参加事例

- ・環境フェスティバル（たくさんの先生を招いた体験講座）
- ・野市小エコ祭り（取り組み紹介や子ども達による出店など）
- ・物部川川祭り（地域のお祭りに参加して発表や出店）



間伐体験



エコ祭りの風景

### ◆取り組みのポイント

- ・環境学習は主に総合学習で実施。先生がこうなさい！というのではなく、自分で考え実践する過程を大切にする
- ・子ども達は手ごたえないと停滞するため、そうなったときは先生が情報を入れるなどしてきっかけをつくる。
- ・子ども達がやりたい！と声をあげられるよう、想い（ニーズ）を先生がつかみ、そのネタをちらつかせる。
- ・上級生から学べる環境をつくる（上級生と下級生が同じテーマの場合、連携して一緒にやるなど）
- ・各学級のとりくみを保護者に配ったり、HPにアップするなどして、情報発信にも力を入れている。

### ◆取り組みに対する想い

- ・環境も学力も、いろいろなものを竜巻のように取り込みながら目指すべきところに向かっていくイメージ。  
そうすることでバランスのいい子が育ち、それぞれの子が輝ける場所ができる。
- ・最初の廻り出す部分はちょっと大変であるが、廻り出せば自然と動いてくれる。

（平成21年10月現在）